

目標達成計画

事業所名 ブルーホーム高砂
 作成日: 平成 27年 6月 6日

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎朝申し送り時に当日の出勤職員全員で施設の介護理念(利用者の安心、尊敬、地域密着)を唱和し、業務に移るが、ただ読んで(いるだけの職員や内容に沁っていない職員もいる	掲げられた理念に沿った介護を全職員が行えるようにする。	理念の内容について職員間と意見を出し合ひ、認識を一つとして介護に携わる。	3 か月
2	31	H27.4月より常勤看護師が外れ、訪問看護士と当施設訪問や身体異常発生時の報告相談を行うような体制をとっている。	介護職員一人一人も看護師に頼りすぎるわけではなく、一定レベルの知識をつけるよう研鑽する。	利用者の状態が急変した際の応急対応等を訪問看護師との間で相談、取り決めを行い、定期的に勉強会、意見交換会などを催し、知識の向上を計る。	1/2 か月
3	33	「延命」に対し職員と利用者及び家人の間に認識のズレがある。以前利用者の急変時に延命を望んでいなかった家人より病院まで通を施行し、父しいとの跡があった。	「助かるものなら助かしてほしい」という身内なら当然の感情もあり、入念に家人との話し合いをする必要がある。	家族会や面会時等に時間を設け、再確認の意味も含め「重篤化・終末期」「延命」への意見交換を行い、有事に施設側と利用者側に意見対立が生じないようにする。	1/2 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入してください。